



# 社協だより

Nishi-ku Shakyo Dayori

No. 91

2023.7.1

## 今年もやまべエピンバッジが完成しました 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!



### 500円の募金で進呈!

今年卯年にちなんで、「餅つきをする兎を応援するやまべエ」がモチーフになっています。  
お求めは西区社会福祉協議会  
(西区役所1階)まで



えなまるちゃん  
もいるよ!



2017年から開始している赤い羽根共同募金と西区の環境キャラクター「さんかくやまべエ」とのコラボレーションによる寄付金付きピンバッジ。7年目となる今年も新たなデザインで登場です。赤い羽根共同募金は地域の福祉活動を支える貴重な財源となっており、今年もやまべエとともに広く赤い羽根共同募金運動の普及を行っていきます。

### もくじ

毎月3日は  
見守り訪問の日



- 共同募金「やまべエピンバッジ 2023」PR ..... 1ページ
- 発寒地区福祉のまち推進センター活動紹介 ..... 2ページ
- 西野地区福祉のまち推進センター活動紹介 ..... 3ページ
- 福祉除雪事業 地域協力員募集 ..... 4ページ
- 民生委員児童委員活動PR ..... 5ページ
- 事業所紹介 ..... 6ページ
- 令和4年度 事業報告・決算/令和5年度 事業計画・予算 ..... 7ページ
- 愛情銀行寄付紹介、賛助会員募集 ..... 8ページ



# 地区福祉のまち推進

地区福祉のまち推進センターでは、住み慣れた地域で安心して生活することに取り組んでいます。今回は発寒地区と西野地区の取り組みについて

## 発寒地区福祉のまち推進センター

発寒地区では昨年度よりデジタル化推進に力を入れており、令和5年4月16日には発寒連合町内会のホームページが開設されました。

そんな中発寒地区福まちでは、5月26日に発寒交流会館にて「福まちオンライン化研修」を実施。今後福まちとして、オンラインツールをどのように活用していくか、活動を進めるにあたって何が必要か、何ができるかなど活発な議論が交わされました。

検討は始まったばかりですが、福まちもオンラインの活用に向けて少しずつ進んでいく予定です。

また、6月8日には『福まち推進員・ボランティア協力員合同研修会』が発寒交流会館で開催されました。町内会で日ごろ見守り活動を実践されている活動者等25名が参加されました。

榎谷会長の挨拶から始まり、西区社会福祉協議会より「見守り活動について～記録の大切さと継続性について～」をテーマに講話を行いました。

見守り活動は高齢者が地域から孤立することを防ぐために大きな役割を果たしており、活動者は住民の身近な相談相手として、ちょっとした変化や異変に気づき関係機関へと伝える「つなぎ役」として活動していただいています。

活動の記録は日々の活動内容を振り返ったり、活動者同士の情報共有や関係機関への情報提供、引き継ぎなどに有効となり、活動の効果や継続性を高めます。

無理なく、できるところから活動が進むよう、発寒地区福まちと西区社会福祉協議会は連携しながら各单位町内会の見守り活動を支援していきます。

発寒地区福祉のまち推進センターでは今年度も様々な研修、事業を通して安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。



▲福まちオンライン化研修



▲福まち推進員・ボランティア協力員合同研修会



### 発寒連合町内会のホームページ

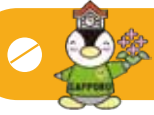
右のQRコードか、下記URLから閲覧いただけます♪

URL: <https://hachamu2023.wixsite.com/my-site>



# センター活動紹介

とができるよう、高齢者の見守り活動を中心に、年間を通して様々  
てご紹介します!



## 西野地区福祉のまち推進センター



西野地区福祉のまち推進センター及び西野地区民生委員児童委員協議会では、5月12日の民生委員児童委員の日にあわせて、民生委員児童委員活動強化週間パネル展と介護予防活動の普及につながるイベントを昭和会館（西野6条3丁目）において開催いたしました。

イベント期間は5月8日（月）～12日（金）の1週間で、地域の関係機関である「介護予防センター西野」「西区第2地域包括支援センター」「西野まちづくりセンター」「第2層生活支援コーディネーター」の協力のほか、西区社会福祉協議会も西野地区の福祉活動のパネル作成に協力させていただきました。



▲お天気に恵まれた、青空体操教室



▲パネルは全部で18枚！  
昨年度より増えました

期間中はパネル展のほか、民生委員・児童委員も参加した「おしゃべりコーナー」の開設、「エコココ！やまべ体操」普及のための青空体操教室、昭和会館前の花壇整備やコキアの苗の配布なども実施されました。コキアは夏に開花、秋に赤く紅葉し、冬にはホウキ作りができる一年草。住民の皆さんが作った昭和会館の花壇、これからもご注目ください。

今年度初の取り組みとして、「介護保険制度について」「免疫力アップ！こころとからだのツボ」の2つのスペシャル講話、第2層コーディネーターによる「ちょこっとスマホ教室」が実施され、約50名の住民の皆さんに参加頂きました。また、「福祉用具のある暮らし」では、実際に福祉用具を見て・触って・体験できる展示があり、福祉用具の技術の進歩を体感できました。

盛りだくさんの内容でしたが、催しは全て無事開催され、大盛況で幕を閉じました。

西野地区福祉のまち推進センターと西野地区民生委員児童委員協議会では、様々な機会を捉えて住民の皆さんと関わり、関係機関と協力しながら「安心して暮らすことのできる地域づくり」を進めてまいります。



▲リピーター続出のちょこっとスマホ教室



▲福祉用具のある暮らし



▲実践ではツボを刺激!

毎月3日は見守り訪問の日



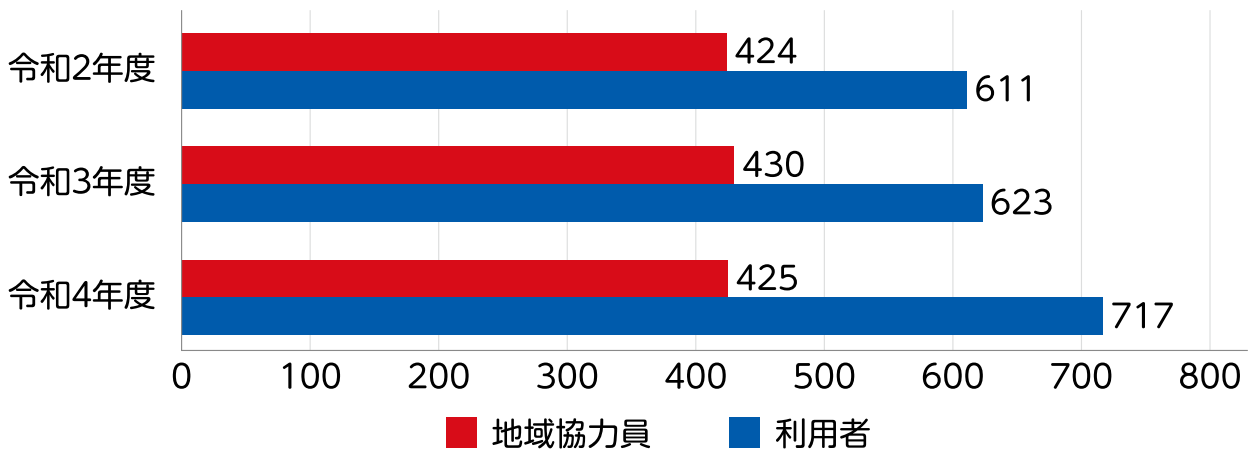
# 福祉除雪事業、地域協力員を募集しています！

自力での除雪が困難な、一戸建てにお住まいの高齢者あるいは障がいのある方の世帯などを対象とした「福祉除雪事業」にご協力いただける個人ボランティア、企業・団体を募集しています。

年々、地域の高齢化や大雪などの影響によりニーズが高まり、利用者数は大幅な増加傾向にあります。西区は、札幌市内で4番目に利用者が多い区となっています。

一方、除雪をしていただく地域協力員は、個人ボランティア・企業や団体の皆さまにお願いをしておりますが、人数はほぼ横ばい状態で、福祉除雪事業の継続には協力員の増員が不可欠です。

## 福祉除雪事業の利用者・地域協力員の推移



今年度は、令和5年12月1日(金)～令和6年3月20日(水)が活動期間となります。

活動期間中は、道路除雪のに入った日の12時頃までに、担当世帯のご自宅に行き、既定の範囲の除雪を原則1日1回お願いしております。

(2022年度活動実績：年間15～17回程度)※地域によって若干変動あり

ご協力を頂ける方には、活動費(除雪に必要なスコップ・手袋等の購入費用)として、除雪活動終了後に1世帯あたり21,000円をお支払いいたします。性別や年齢を問わず、活動をして頂くことが可能です！

詳細は当会までお問合せ、もしくは下記のQRコードよりお申込ください。ご興味のある方、まずは話を聞いてみたい方の連絡もお待ちしております。

福祉除雪事業は、地域の住民の皆さまの協力なしには成り立ちません。

皆さまのあたたかいご協力、よろしくお願い致します！

**【お問い合わせ】西区社会福祉協議会 641-6996 まで**



# 民生委員・児童委員活動強化週間

(毎年5月12日は民生委員児童委員の日)

民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一員として、それぞれが担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」として活動するとともに、高齢者世帯等の見守りや安否確認などにも重要な役割を果たしています。

## 西野地区(5/8～12)の取り組み

西野地区の福祉のまち推進センターと共催で活動 PR パネル展や住民向け講話などを「昭和会館」にて実施しました。民生委員として日々連携を密にしている介護予防センターによる「やまべ体操」のほか、第2地域包括支援センターによる講話、生活支援推進員によるスマホ教室など、多くの関係機関も参加して5日間にわたって民生委員活動のPRを行いました。



## 琴似二十四軒地区(5/13)の取り組み

琴似二十四軒地区民生委員児童委員協議会では、地下鉄琴似駅周辺で街頭啓発活動を行いました。

当日は天候にも恵まれ、行き交う区民の皆さんに民生委員児童委員活動のPRを行うことができました。



## 発寒北地区(5/13～15)・山の手地区(5/22)でも活動 PR パネル展を開催

両地区民生委員児童委員協議会では「はっさむ地区センター」と「山の手会館」においてそれぞれパネル展を開催しました。発寒北地区では第3地域包括支援センターによる相談会、介護予防センターの活動パネルも展示しました。



このほか、八軒地区、八軒中央地区、発寒地区では訪問活動など担当地区内での取り組みにおいて民生委員児童委員活動を周知、西町地区では地域内行事においてPR活動に取り組んでいくこととしています。



PRキャラクター  
「ミンジー」  
(札幌市版)

毎月3日は見守り訪問の日

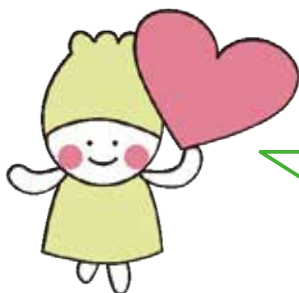


# 社協の職員



札幌市社会福祉協議会では、地域の方々と一緒に福祉のまちづくりを進める西区社会福祉協議会の他、高齢者の在宅生活を支える事業所や高齢者の生活に関する総合的な相談を受け付ける機関、また健康でいきいきとした生活を支援する施設を運営しています。

本号では、高齢者の在宅生活を支える「西ヘルパーセンター」とそこで働く職員を紹介します！



取材をしたのは、  
サービス提供責任者の  
『岡田美穂さん』



## 西ヘルパーセンターって？

ヘルパーセンターでは、主に高齢者の在宅生活を支えるため、日常生活上の困りごとをお手伝いするヘルパーを365日休まず派遣しています。

相談を受け、一人ひとりに必要なサービスの内容を検討し、ヘルパーの調整を行っています。

## 仕事で心がけていることは？

相談を受けた際には、ご本人ができることは何かを把握し、できることはご本人にやってもらい、できないことをヘルパーがお手伝いしていけるように心がけています。

例えば、野菜を切る、洗う、メニューを考えるなど、ご本人ができることを見つけ、参加してもらいながら支援を進めます。

## 職場はどんなところ？

職員がお互いになんでも話ができて、気軽に相談ができる良い環境です。落ち込むことがあっても、声をかけてくれて話を聞いてくれる先輩方や時にはうれしかったことを分かち合える仲間がいるので、安心して仕事ができます。

## 岡田さんの仕事について教えて

サービス提供前の契約に関する事務や、サービスを提供するのに必要なヘルパーの調整、利用者さんやご家族、ケアマネジャーなど関係機関との連絡調整、実際にヘルパーとして調理や掃除、入浴の支援なども行います。

## 仕事のやりがいや楽しさは？

日々の仕事の中で、掃除や入浴のお手伝いをしながら、利用者さんと会話をすることが楽しいです。

利用者さんの昔の話や、あまり聞く機会のない戦争の話、また時にはご家族の愚痴など色々な話をします。来るのを心待ちにしてくれたり、「来てくれてありがとう」と言われるととても嬉しいです。

- 札幌市社会福祉協議会 西ヘルパーセンター
- 住所：西区琴似1条6丁目4-3  
琴似第一ビルディング2階
- 電話：613-4020

## 一緒に働きませんか？

高齢者の在宅生活を支援するヘルパーを随時募集しています。お気軽にお問合せください♪

問い合わせ先：011-623-0010

(札幌市社会福祉協議会)／平日8:45～17:15



# 令和4年度 西区社会福祉協議会 事業報告・決算報告

令和4年度においては、地域福祉活動が徐々に再開され、地域における「福祉マップづくり」や「見守りに関する講話や研修会」などの依頼も増えたり、またふれあい・いきいきサロンの新規登録もあり、コロナ禍前とほぼ変わらない状況で各種事業に取り組むことができました。



福祉マップづくりの支援



ボランティア入門研修



福まち活動者全体研修会

## 【資金収支決算】

(単位：円)

科 目		金 額
収入の部	会費収入	718,000
	寄付金収入	543,290
	経常経費補助金収入	8,261,655
	助成金収入	15,781,078
	事業収入	4,473,750
	受取利息配当金収入	73,235
	前期末支払資金残高	19,588,979
合 計		49,439,987

科 目		金 額
支出の部	事業費	3,521,158
	事務費	2,865,133
	助成金	23,545,037
	その他	724,680
	当期末支払資金残高	18,783,979
合 計		49,439,987

# 令和5年度 西区社会福祉協議会 事業計画・予算

## 重点取り組み

### 福祉のまち推進センター事業の強化

地区福まちや単位町内会に対する積極的な活動支援と、広くネットワークの構築を行い、見守り・支えあい活動の推進を図ります。

### 「ふれあい・いきいきサロン」の普及と充実

新規サロンの登録やコロナ禍で休止していたサロンの再開に向けた支援を進めます。

### ボランティア活動・福祉除雪事業の推進

高齢者や障がいをお持ちの方の生活支援ニーズの対応に向けての人材育成や活動への参加の機会づくりを促進します。

### 高齢者等の在宅生活支援の充実

高齢者の生活支援ニーズの対応に向けた体制づくりを進めるほか、「日常生活自立支援事業」の新規利用の促進を図ります。

## 【資金収支予算】

(単位：円)

科 目		金 額
収入の部	会費収入	850,000
	寄付金収入	1,000,000
	経常経費補助金収入	24,633,000
	助成金収入	250,000
	受託金収入	109,000
	事業収入	4,084,000
	受取利息配当金収入	3,000
	その他の収入	1,585,000
前期末支払資金残高	22,420,000	
合 計		54,934,000

科 目		金 額
支出の部	事業費	3,646,000
	事務費	3,702,000
	助成金	25,252,000
	負担金	40,000
	その他支出	1,230,000
	当期末支払資金残高	21,064,000
合 計		54,934,000



# 愛情銀行寄付受理報告

～あたたかい善意ありがとうございました～

令和5年 4月 株式会社オーク様 ..... 300,000円

## <物品寄付>

令和5年 2月 松本 幸司様 ..... 紙おむつ  
2月 匿名様 ..... 紙おむつ、お尻ふき 他  
毎月 マルハン琴似店様 ..... お菓子



マルハン琴似店様



株式会社オーク様

## 西区社協愛情銀行へのご寄附について

本会では、住民の皆様からいただいた善意は、地域の福祉活動(孤立をしない地域づくりや、ふれあい・いきいきサロン、見守り安心グッズなど)に有効に活用させていただいています。皆様からのお申し込みをお待ちしております。

## 賛助会員になりませんか

本会では、地域における福祉活動を広く推進する財源を確保するため、賛助会員を募集し、会費を募っています。

この「賛助会員制度」は、賛助会員に加入していただくことにより、地域との接点と地域福祉活動に対する関心を持っていただくことを目的としています。

趣旨に賛同し、ご入会いただける方は、本会事務局へご連絡をお願い申し上げます。

**賛助会費:個人(1口)1,000円 団体・法人(1口)10,000円**

※2口以上のご加入もお受けしております。

※賛助会員会費及び愛情銀行寄附金は、寄附金控除として所得控除の対象となります。詳細につきましては最寄りの税務署もしくは本会までお問い合わせください。

